

秋をさがそう



①キタコブシの実が色づき始めていました。

②ツタウルシの葉が少しずつ紅葉を始めたようです。

③カラマツ林に生えていたキノコ。食べられるのかな？

④アキアカネが赤くなり始めています。

⑤セイタカアワダチソウが咲いていました。

⑥ススキの穂が開けた場所に生えていました。

「支笏湖の森」遊歩道さんぽ

支笏湖温泉園地の遊歩道を歩いて見つけた
旬の自然を紹介するコーナーです！

実りの秋のドングリ探し

秋といえば実りの季節。支笏湖園地でも多くの植物たちが子孫を残すために果実をつけ始めます。動物たちにとっては重要な餌となるので食欲の秋といったところでしょうか。

最近よくエゾリスを見かけるのですが、このリスの好物ドングリもそのひとつです。ドングリはブナ科植物（園地では主にミズナラ）の果実（堅果）です。しかし、どうやら今年はドングリが凶作のようで園地内を探してみてもほとんど見つけれませんでした。

ドングリは、ヒグマやネズミ、鳥ではカケスなどが好んで食べます。

凶作の年は餌が不足することになります。残念ながら今年はお腹いっぱい食べられそうにありません。



園地で発見したドングリです

支笏湖温泉 の気象

気温(℃)

降水量(mm)

	平年値	今年		平年値	今年
8月上旬	20.1	23.4	8月上旬	55.3	80
中旬	19.4	23.4	中旬	75.0	56
下旬	18.9	24.2	下旬	86.7	35
9月上旬	18.2	21.1	9月上旬	95.4	144

支笏湖畔の気温・降水量
～気象庁アメダスによる
平年値と今年の観測～

8月は1976年の観測開始以来最も暑い月になりました。月平均気温は平年値を4.3℃も上回る23.7℃と過去最高でした。内訳は日最高気温が30℃以上の真夏日が4日間、25℃以上の夏日が19日間あり、月最高気温は25日の31.2℃でした。特に目立ったのは日最低気温の高さでした。8月中の日最低気温は全ての日で平年値を上回り、月平均値は平年値より4.1℃高い21.3℃。最も高かったのは26日の23.7℃でした。

9月に入っても気温の高い日が多く、上旬の夏日は5日間、平均気温は平年値を2.9℃上回る21.1℃でした。



環境省支笏洞爺国立公園管理事務所
アクティブ・レンジャー(自然保護官補佐)
阿部 万純

アクティブ・
レンジャー日記

樽前山のコマクサをご存じでしょうか。昭和から平成にかけて人の手によって持ち込まれ、定着した外来のコマクサです。コマクサ自体は高山植物の女王と呼ばれるとおり美しい佇まいの草本ですが、樽前山に元から生育するイワブクロなどの植物が置き換わってしまう勢いで増えています。環境省では協力者やボランティアとともに外来コマクサの除去を毎年行っており、今年は6月・7月・9月の3回行いました。コマクサの数はまだまだとても多いのですが、本来の樽前山の姿を取り戻すまで活動を続けたいと思います。(写真は白花のコマクサ。赤色、黄色と共によく見られる)

ビジターセンターの展示物紹介



『パン皮状火山弾』

これは、樽前山噴火で火口から飛んできた溶岩の破片です。高熱で溶けた溶岩のかげらは空中で冷やされ表面が固まりますが、内部の液体が沸騰して膨張するため、フランスパンのようなひび割れが生じたのです。

ビジターセンターイベント報告

《自然ふれあい行事》

『口無沼アドベンチャーライド』



参加した皆さんの後ろに
広がるのが口無沼

9月10(日)恵まれた天候のもと、電動マウンテンバイクで口無沼を訪れました。

樽前山の噴出物により堰き止められてできた口無沼の形成の歴史を体感できる催しになりました。林道を風を切って走る爽快感も抜群でした。

イベントと地域の情報

■9月24日(日)歴史・地史さんぽ 『支笏湖歴史めぐり』

温泉街と園地をめぐって支笏湖の歴史をかたります

■10月14日～22日自然ふれあい行事 『紅葉パウチ交換』

ひろってきた落ち葉と「紅葉パウチ」を交換します

■10月15日(日)自然ふれあい行事 『紅葉はがき作り』

もみじの押し葉などを使って「紅葉はがき」をつくります

■10月28日(土)歴史・地史さんぽ 『苔の回廊「楓沢」めぐり』

楓沢の地史・自然をレクチャーします

支笏湖ビジターセンター運営協議会発行

〒066-0281 北海道千歳市支笏湖温泉番外地

TEL 0123-25-2404

HPアドレス <http://shikotsukovc.sakura.ne.jp>

【開館時間】 ※入館無料

4月から11月 午前9時から午後5時30分まで

12月から3月 午前9時30分から午後4時30分まで
(火曜日休館)

年末年始休館日 12月29日から1月3日まで